

朝廷や貴族、寺社などは独裁的な平氏に対して反感が高まっていた。



後白河法皇の子が平氏追討の命令を出し、これに源頼朝が挙兵する。



1185年、壇ノ浦（山口県・下関市）で源平の最終決戦がくりなげられ、源氏が勝利する。

源平の戦い

という。